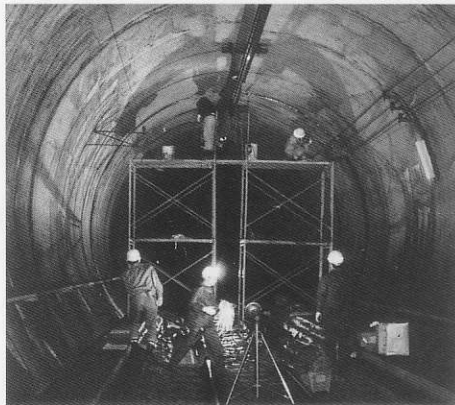


可とう性型エポキシシール材 (湿潤面接着・ガン打ち可能)



# ボンドE380F

E380Fは、土木地下構造物の湿潤面コンクリートやセグメントの目地シール用途に開発された、水中硬化型可とう性エポキシ樹脂パテ材です。優れた伸縮性、作業性を兼備し、従来施工が困難とされた、湿潤状態での目地に対して良好な充てん接着性能を発揮します。

JAIA-003906 F☆☆☆☆

## ■用途

目地充てん：シールドセグメント目地、地下道誘発目地、鋳鉄管ジョイント目地、ヒューム管ジョイント目地、ボックスカルバート接合部の目地など。

ひび割れ充てん：護岸、ダム、ドック、トンネル等の湿潤面コンクリートのひび割れ補修。

防食：棧橋、護岸などの金属構造物の防食被覆。

## ■特長

可とう性：硬化物は可とう性に優れています。

接着性：湿潤面の接着性に優れています。

作業性：機械攪拌可能で、コーキングガン打ちができます。しかもノンサグ性ですから優れた作業性を発揮します。

低収縮：無溶剤型化学反応硬化タイプですから、硬化による体積収縮がほとんどありません。

## ■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外 観	白色ペースト状	灰色ペースト状
粘 度 (23℃)	450~750Pa・s	100~300Pa・s
比 重 (23℃)	硬化物 1.45±0.05	
混 合 比	主剤：硬化剤=1：1 (質量比)	
可 使 時 間	約60分 (23℃、1kg)	

※数値は規格値ではありません。

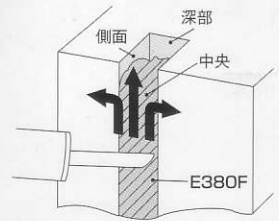
## ■使用方法

- 施工面は、ホコリ、レイトランス、油脂分、サビおよびコケ類などをはつり取るか、ワイヤーブラシをかけて取り除き、清浄にしてください。
- E380Fの主剤と硬化剤を1：1 (質量比) の混合比で計量し、ヘラ等で色が均一になるまで十分に混合攪拌し使用してください。
- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれの量にしてください。
- E380Fが皮フに直接ふれると、体質によってはかぶれることがあります。作業時には、保護クリームを使用したり、ゴムまたはポリエチレン製の手袋を着用してください。万一、皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とししてください。眼に入った場合には多量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 器具類に付着した樹脂は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
- 施工後、完全に硬化するまでは、過度の振動、衝撃、圧力などを加えないでください。
- 低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。

■ 施工方法

● ひび割れ、目地づめの場合

混合し、コーキングガンに充てんしたE380Fを、充てん箇所の接着面に深部から両側面、次に中央部へと、隙間の残らないように全体を充てんし、ヘラ等で圧着して仕上げてください。



● 接着や防食被覆の場合

下地を清浄にした後、塗布面の水を押し出すようにすり合わせて接着、あるいは押し広げるように被覆します。

※湿潤面へ塗布する場合は、ヘラ等で良く押えつけて密着させてください。

※水中で施工する場合は、20分以内に使い切る様にしてください。

■ 技術データ

1. 硬化樹脂性能 (JIS K 7113準拠)

硬化条件	接着条件	試験条件	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び率 (%)
23℃・7日		23℃	2.8	43
		5℃	5.1	34
23℃・7日 + 80℃・7日		23℃	4.1	32

2. 引張接着強さ (モルタル/モルタル (50×50×15mm<sup>3</sup>)), (JIS A 1439参照 引張試験速度 5mm/min.)

被着体条件	硬化条件	試験条件	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び率 (%)
乾燥面	気中23℃、7日	23℃	2.6	37
	気中23℃、7日	5℃	3.9	17
	気中10℃、7日	10℃	2.9	27
	気中 5℃、7日	5℃	3.0	22
湿潤面	気中23℃、7日	23℃	2.1	29
	23℃、98%RH、7日	23℃	1.6	19
	水中23℃、7日	23℃	1.3	20

3. 引張接着強さ (鋼板/鋼板 (50×50×2mm<sup>2</sup>)), (JIS A 1439参照 引張試験速度 5mm/min.)

被着体条件	硬化条件	試験条件	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び率 (%)
乾燥面	気中23℃、7日	23℃	2.6	35
湿潤面	水中23℃、7日	23℃	1.4	19

4. 耐水圧試験

φ28×16の円柱状の目地に接着剤を充てんし、23℃、7日養生する。

加圧は50kPaを30分行った後、100kPaで1時間、その後50kPaピッチで1時間ずつ加圧し、加圧時の目地の変形、破裂等を調べる。

300kPaから目地の膨れはみられるものの、600kPaまで破裂なし。

■ 梱包容量

● E380F：8kgセット (主剤4kg、硬化剤4kg) ……2セット入り/1ケース

■ 注意事項

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

**注意事項：**本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 作業場所は十分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。●温度が40℃以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●大量に混合すると、発熱し煙が発生したり可使時間が短くなることもある。可使時間以内に使いきれぬ量を混合する。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願いたします。(記載の性状等は2004年12月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

ボンド事業本部

本 部/大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06 (6228) 2961 FAX06 (6228) 2927  
東京支店/東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03 (5259) 5737 FAX03 (5259) 2144

名古屋支店 TEL052 (262) 8173 FAX052 (262) 8175  
福岡支店 TEL092 (551) 1764 FAX092 (551) 1545  
札幌支店 TEL011 (612) 0211 FAX011 (612) 0219

仙台営業所 TEL022 (211) 5031 FAX022 (211) 4990  
北関東営業所 TEL027 (324) 3002 FAX027 (324) 1187  
厚木営業所 TEL046 (229) 9610 FAX046 (229) 9636

金沢営業所 TEL076 (223) 1565 FAX076 (223) 4794  
広島営業所 TEL082 (507) 1911 FAX082 (507) 6676  
高松営業所 TEL087 (835) 2020 FAX087 (835) 4623

EテG22-04



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

E380F

1999.10.3000(O)61-FD  
2003. 4.5000(T)23-FD  
2004.12.5000(T)23-FD